

1月27日 第2回 CSR 基礎講座「CSR 調達」が開催されました。

〔内容〕

CSR 基礎講座の第2回目のテーマは「CSR 調達」でした。

基調講演では、日本サプライチェーンマネジメント協会代表の上原修氏による「CSR 調達の現状 日米サプライマネジャーの責任」について発表していただきました。サプライマネジメントの日米アンケートから、社会的責任の7つの要素（共同社会、安全、財務責任、人権、倫理、環境、多様性、）を検討した結果、日本のCSRへの取組みは共同社会、安全、人権、環境の4分野で米国より秀でていることが指摘されました。今後、日本企業は、財務責任、倫理、多様性を含めた取組みを、企業文化に取り込んでいくことが必要であると言及されました。

事例発表では、イオン株式会社環境・社会貢献部長上山静一氏に「CSRを通じた企業と社会の対話 CSR 調達を中心として」をテーマに発表していただきました。イオンでは、特に自社ブランドであるトップバリュにおいてCSR 調達を実施しています。サプライヤーCtoCの要求内容、取組みのプロセス、監査のあり方と、先駆的な取組みについての事例が紹介されました。